



国際ロータリー 第2740地区

# 佐世保中央ロータリークラブ

## 本日の出席率 77.5%

|          |      |
|----------|------|
| 会員数      | 40 名 |
| 出席       | 31 名 |
| 欠席(免責0名) | 9 名  |
| ビジター     | 5 名  |

## 前々回の修正出席率 100%

|        |      |
|--------|------|
| 出席     | 35 名 |
| メイクアップ | 6 名  |
| 出席規定除外 | 0 名  |

## ‘08~‘09 年度クラブ・スローガン

ロータリーは **出愛** のきずな  
楽しもう！ロータリー！

### サブ・スローガン

楽しもう！ クラブ奉仕  
皆んなに見せよう！ 職業奉仕  
青少年・まちづくり！社会奉仕  
親愛のきずな！ 国際奉仕

‘08~‘09 年度 R.I テーマ  
**夢をかたちに**



## 会長挨拶・指山康二 君



皆様こんにちは。先週の新年例会は、春の間の和室で開催しましたが、和室での例会も新年らしくて良かったと思います。

ホームページの週報に新年例会の全員の写真が載っていますので、是非ご覧下さい。

新年と言えば、私1月3日に孫3人を含め家族10人で、福石観音に還暦の祈願に行き参りました。又、先週の土曜日は、雪の降りしき中、朝5時から起きて八幡神社の十日恵比寿のお手伝いに行きました。一緒にお手伝いしたのが、竹本慶三君・川崎洋一君・川島千鶴君・瀬戸浩君・そして古賀純男パスト会長の娘さんも頑張っていました。日高操一郎君も数時間だけ手伝っていました。今年の世界経済不況を吹き飛ばし、無病息災・商売繁盛の為、お手伝いをされた皆様、お疲れ様でした。

さて、先週の新年例会では簡単な新年のご挨拶だけでしたので、少しロータリーの話を読ませてください。今日から2009年の通常の例会がスタートした訳ですが、今年度まだまだ半分が終わったところで、あと20回も例会があります。残りの事業としましては、2月1日のIM、2月12日の延寿会、3月8日の青少年委員会事業の佐世保中央ロー

タリークラブ杯「南部地区少年剣道大会」の開催、4月9日からの釜山連山RC訪問、4月11~12日の鶴田明敏ライラ地区委員長のライラの参加支援とまだまだ事業が残っています。そして最後はいよいよ6月の会長幹事交代式で井上亮年度に引き継ぎますので、それまでは宜しくお願いいたします。

最後に、今年の経済は益々厳しいと思いますが、こんな時こそボールハリスがロータリーを創設した、職業奉仕のロータリーの原点に戻り、佐世保中央ロータリークラブの絆を深めて行きたいと思います。今年度の後半も「ロータリーは出愛のきずな」「楽しもう！ロータリー！」の思いで、暗い事は忘れて、佐世保中央ロータリークラブだけでも明るく、楽しくしようとの思いで活動しましょう。

今年も佐世保中央ロータリークラブを宜しくお願い致しまして、会長挨拶と致します。

## 本日のビジター紹介

第6グループガバナー補佐

佐世保ロータリークラブ

佐世保北ロータリークラブ

内海 和憲様

山下 尚登様

鈴木 正昭様

深町 等様

ハウステンボス佐世保ロータリークラブ 川崎 伸一様

## 幹事報告

### 1. 例会変更

ハウステンボス佐世保ロータリークラブ

1月27日(火)12:30~→1月27日(火)18:30~

ホテル日航ハウステンボス 新年夜例会(還暦・古稀祝)の為

## 2. 来信

## ・財団法人米山記念奨学会

米山功労者・功労クラブ感謝状送付の件  
 米山功労者・・・指山康二会長・田端茂君

## ・ガバナー事務所

ポール・ハリス・フェロー認証状メダルセットの送付  
 前田眞澄君・大久保厚司君

## ・第6グループガバナー補佐 内海 和憲様

2月1日の IMに、全員登録していただき  
 ありがとうございました。今年は第四グ  
 ループの唐津西ロータリークラブが中心  
 になって行われます。たくさんの皆様  
 のご出席をお願いします。



## ニコニコボックス

## \*第6グループガバナー補佐 内海 和憲様

皆様今年もよろしくお願ひ致します。3回目の定例訪問です。IM  
 の件のお礼そして当日の出席のお願いにまいりました。

## \*佐世保北ロータリークラブ 鈴木 正昭様

あけましておめでとうございます。本年もよろしくお願ひします。  
 指山会長も6ヶ月がすぎ、お顔が明るくなったようにみえます。  
 後半も油断なく頑張ってください。

## \*ハウステンボス佐世保ロータリークラブ 川崎 伸一様

明けましておめでとうございます。所用にて年末より、留守をし  
 ており、年賀状を戴いた方々には失礼をしております。場違いで  
 はありますが、お礼を申し上げます。本日は弟が欠席ですが、私  
 が代わりに出席(?)をさせていただきます。宜しくお願ひ致します。

## \*指山 康二会長・崎元 英伸副会長・岩政 孝幹事

1月の第1例会に欠席されてた方がいらっしゃいましたら、明けま  
 しておめでとうございます。本年もよろしくお願ひします。前回の  
 新年例会の様子が週報にのっております。中村 貴会員の活躍で  
 出席者全員のスナップ写真が楽しめますので、どうぞご覧下さい。  
 内海ガバナー補佐におかれましては、3回目のご訪問ありがとうございます。

## \*鶴田 明敏君

会員の皆様、明けましておめでとうございます。先週の例会は所  
 用で欠席させていただきました。また、たくさんの会員の方々か  
 ら賀状を頂きありがとうございました。当方喪中につき失礼致し  
 ました。

|        |           |
|--------|-----------|
| 本日の合計  | 9,000 円   |
| 本年度の累計 | 601,500 円 |

## 卓話

## クラブ管理委員会 田代 博之君

ロータリー理解推進月間にちなん  
 で話をするようになっていま  
 すが、話すことを何も思いつか  
 ないので、日頃考えていること  
 を話させていただきます。

去年10月、2人の社員が辞めま  
 した。彼らは、私が初めて大学  
 卒の新卒で採用し、入社して1  
 年半でした。辞める理由を聞いて  
 も、良く分かりませんでした。ゆ  
 とり教育で育った人たちの感覚  
 が違うのかなと思いました。やり  
 たくないことはやらない。スト  
 レスに弱い、ちょっと嫌な事が  
 あると、すぐに辞めてしまふ。そ  
 れと、自分が会社を辞めること  
 で、会社に迷惑を掛ける事が理  
 解できていないようでした。こ  
 れからこのような感覚の人たち  
 が増えてくるのであれば、それ  
 なりの対応をしなければならない。  
 高卒の方では50%、大卒で30%  
 の方が3年以内で辞めてい  
 かれる。会社にとっては3年た  
 ってやっと回収が出来るのに  
 その前に辞めていくようです。  
 言われたことしかしない、言  
 われなければ何もしないような  
 人が多く、マニュアルを作らな  
 ければいけないのかと思います。  
 また、昔みたいに「黙ってつい  
 て来い」は通用しない、分か  
 るまで説明すると意外と仕事  
 もするし、そのような対応を  
 すれば、若い人もついてくる  
 ようだ。上手に若い人を使う  
 ことによって、他社との差別  
 化が出来るのではないかと考  
 えています。



最近日本では、親殺し、子殺し  
 が増えてきているような気が  
 します。戦後教育の影響なの  
 か、日本人が少しおかしくな  
 ってきているようです。内閣府  
 の意識調査で、母親を尊敬す  
 る人は米国では95%で、日本  
 では43%、父親を尊敬する  
 人は米国で93%、日本では  
 39%となっています。日本  
 人は、ほとんど子供から尊敬  
 されていない。このようなこ  
 とが事件につながっているの  
 ではないでしょうか。もともと  
 日本人が持っていた美質をな  
 くしてしまっているようです。  
 是非それを取りもどしたいと  
 思います。最後に、「致知」と  
 いふ雑誌に載っていた「富国  
 有徳への道」の記事を読んで  
 最後にしたいと思います。

「この国の人々は今までに  
 発見された国民の中で最高  
 であり、日本人よりも優れて  
 いる人々は異教徒の間では  
 見つけられない。彼らは親  
 しみやすく、一般に善良で、  
 悪意がない。驚くほど名誉  
 心の強い人々で、他の何も  
 のよりも名誉を重んじる。大  
 部分の人々は貧しいが、



武士も、そういう人々も貧しいことを不名誉とは思わない」。1549(天文18)年、キリスト教のために日本にやってきたフランシスコ・ザビエルが、本国に送った手紙である。それから300年、江戸末期から明治にかけてたくさんの外国人が日本を訪れ、日本と日本人についての感想を残している。

1856(安政3)年、通商条約を結ぶために来日したハリス提督は、その日記にこう記している。「彼らは皆よく肥え、身なりもよく、幸福そうである。一見したところ、富者も貧人もいない。これが人民の本当の幸福の姿というものだろう。私は時として、日本を開国して外国の影響を受けさせることが、この人々の普遍的な幸福を増進する所以であるかどうか、疑わしくなる。私は質素と正直の黄金時代を、いずれの他の国におけるよりも多く日本において見出す。生命と財産の安全。全般の人々の質素と満足とは、現在の日本の顕著な姿であるように思われる」。

イギリス人女性旅行家で紀行作家のイザベラ・バードは1878(明治11)年5月に来日、東北や北海道を旅行し、こう書いた。「ヨーロッパの国の多くや、所によってはわが国でも、女性が外国の衣装で一人旅をすれば現実の危険はないとしても、無礼や侮辱にあったり、金をばられたりするものだが、私は一度たりとも無礼な目に遭わなかったし、法外な料金をふっかけられたこともない」。

1890(明治23)年来日のドイツ人宣教師の記録。「私は全ての持ち物を、ささやかなお金も含めて、鍵を掛けずにおいておいたが、一度たりともなくなったことがなかった」。

フランスの詩人ポール・クローデルは、1921～27(大正10～昭和2)年まで駐日大使を務めたが、第二次大戦で日本の敗戦が色濃くなった1943(昭和18)年、パリで言った。「日本は貧しい。しかし、高貴だ。世界でどうしても生き残ってほしい民族をあげるとしたら、それは日本人だ」。

私たちの祖先は勤勉・正直・親切・素直・感謝といった徳目を規範に、幾世紀も暮らしてきた人たちであった。外国の人たちの証言はそのことを明らかにする。さて昨今は・・・隔世の感、と言わざるを得ない。この日本人の美質を取り戻し、後世に渡さなければならない。私たち一人ひとりがこの美質を涵養し、発揮した時、日本は真に豊かな国となる。富国有徳とはこのことである。

先覚者安岡正篤師の言が思い起こされる。「人々が己れ一人を無力なもの、ごまめの歯ざしりと思わず、如何に自分の存在が些細なものであっても、それは悉く人々、社会

に関連していることを体認して、まず自らを良くし、また自らの周囲を良くし、荒涼たる世間の砂漠の一隅に緑のオアシスつくることである。家庭に良い家風をつくり、職場に良い気風をつくれないような人間が集まって、どうして幸福な人類を実現できましょうか」。

富国有徳への道は一己より始まることを、私たちは忘れてはならない。

|       |          |        |
|-------|----------|--------|
| 次回例会  | 1月22日(土) | 12:30～ |
| 次次回例会 | 1月29日(木) | 12:30～ |